

令和4年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

評価項目			指標	実施状況		評価	
施設の使命を達成するための取組	通番	指定管理者提案	R4年度	実績	説明	自己評価	行政評価
使命1 幅広い市民に能、狂言その他の古典芸能を広める	1	磯子区・南区・港南区の属性別総人口比に対する年齢別の事業参加者の比率(業務の基準で設定している定量指標①)	0～14歳:5% 15～64歳:45% 65歳以上:50%	0～14歳:11% 15～64歳:46% 65歳以上:44%	近隣の小学校を呼んでの狂言教室を行うことで、低年齢層の方にも多く来館いただいた。	【成果】 ・「小学校向け狂言鑑賞教室」で735名の児童が参加したことから、14歳以下の年齢の方にも多く来館いただけました。 ・幅広い方に当館を知りたい方、様々な催しを行った結果、初めて来館された方が約5割となり、知名度向上に繋がりました。 ・近隣3区(磯子区・南区・港南区)の小学校を対象に、「小学校向け鑑賞教室」を実施。9校に参加いただき、次世代育成に貢献しました。 【課題】 ・「小学校向け狂言鑑賞教室」以外の事業については、高年齢の方の参加が多いため、幅広く、より多くの市民が楽しんでいただけるような事業を今後も実施してまいります。	【評価できる点】 ・近隣の小学校へ向けての狂言鑑賞講座については、子どもたちが古典芸能に興味をもつきっかけに繋がり、次世代育成に貢献していると確認できます。今後も様々な学校に参加いただけるよう、継続的な実施をお願いします。 ・伝統芸能に関する講座について、目標指標を上回る取組を評価できます。来館される方へ幅広い伝統芸能を広めるための講座を実施したことが確認できます。 ・撮影利用等の問い合わせ対応について、専用メールアドレスを公開したことについては、利用者の立場に沿った対応であり、評価することができます。 ・近隣施設や関係施設と連携して事業を実施することで地域活性化にも貢献していることが確認できます。 ・日常点検を行っていることが確認できており、早期に対応できるよう日頃から注意していることを評価できます。 ・物価高騰が続く中、これまで以上に光熱水費の節減や消耗品費の節約などの取組を確認することができます。
	2	事業参加者数に対する初めて来館した人の数の割合(アンケート集計)(業務の基準で設定している定量指標②)	3割	4.7割	より多くの方に久良岐能舞台を知りたいためにコンサートや怪談講談等を実施。		
	3	自主事業の実施回数(業務の基準で設定している定量指標③)	年間8回	13回	各種講座を除いた単発公演を13回実施。		
	4	学校プログラムの実施校数(3校以上)(業務の基準で設定している定量指標④)	3校以上	9校実施	久良岐能舞台でのインリーチ事業を近隣小学校(磯子区・南区・港南区)を対象に実施。		
	5	事業参加者、子どもたちや学校の声(アンケートやインタビュー調査)(業務の基準で設定している定性指標①)	実施100%	アンケート実施100%	事業参加者やインリーチ・アウトリーチ事業参加校にはアンケートを実施。		
	6	能公演、狂言等の伝統芸能に関する事業に加え、より多くの市民に施設に来館いただき、施設そして古典芸能にも興味を持ってもらうよう、コンサート等の幅広い事業を実施する(指定管理者が提案する指標)	実施	実施	幅広い事業を実施することで、初めて来館される方は4.7割に昇った。		
使命2 能楽等に携わる人材を育む	1	能楽等の技術を学ぶ講座や愛好者の交流ができる事業数(業務の基準で設定している定量指標①)	7講座	9講座	磯子講座は2講座予定だったが、大鼓・小鼓・太鼓・笛すべての楽器で受講希望者がいたため、全講座を実施。	【成果】 ・能楽愛好家育成のため、日本舞踊、能楽講座(宝生流・喜多流・金春流・4歳からの能楽)、磯子講座(太鼓・大鼓・小鼓・笛)の9講座を実施。様々な講座を行うことで、広く伝統芸能の普及を図りました。 【課題】 ・受講生は高齢者が多く、新型コロナウイルスの影響もあり、長期的な休みを取る方がいる状況です。安心して受講いただける環境づくりを心がけ、長く受講し続けられるよう対策を検討してまいります。	【更なる取組を期待する点】 ・施設の存在をアピールしつつ、地域の方々に継続して興味をもっていただけるような事業の展開ができるることを期待しております。 ・近隣区である、南区、港南区、磯子区に加え、他の地域からも来館してもらえるよう、施設について効果的なアピール方法を検討していただくようお願いします。 ・物品販売等を導入し、指定管理料以外の収入を得たことについては、今後も工夫をし、物販販売等で固定的なファン層を獲得できることを期待しています。
	2	事業参加者数に対する継続的な事業参加者の割合(アンケート集計)(業務の基準で設定している定量指標②)	6割	7.6割	新型コロナウイルスの影響により、長期休みをとる方もいるが、月に1回以上はお稽古する方が多い。		
	3	アンケート回収率(業務の基準で設定している定量指標③)	100%	100%	受講生にアンケートを実施。		
	4	近隣の能楽等を中心とした文化団体の状況把握(業務の基準で設定している定性指標①)	状況把握に努める	状況把握に努めた	久良岐能舞台を利用されている団体や、その他施設を中心に活動されている方等について、利用者や近隣施設へのヒアリングにて状況把握に努めた。		
	5	利用団体と活動場所を探している方の懸け橋となるよう、利用団体のメンバー募集等の支援を行う(指定管理者が提案する指標)	実施	実施	活動に興味を持っている方を利用団体へ紹介したり、HPにて募集情報を掲載し、メンバー募集の支援を行った。		
使命3 能楽等をはじめとする市民の活動の場となる	1	総来場者数(業務の基準で設定している定量指標①)	14,000人	11,160人	多くの市民が参加する「久良岐まつり」の庭園行事が新型コロナウイルスの影響により中止となったことが大きく響き、目標人数に届かなかった。	【成果】 ・撮影利用や、当施設を気に入っています。リピーターの利用者が増えたことで、例年よりも高い稼働率となりました。特に茶室については、稼働率が低いことが課題となっていましたが、撮影での利用やお茶での利用のリピーターが増加したため、稼働率が上がりました。 ・これまで、問い合わせは電話や来館でのみ受け付けておりましたが、問い合わせ専用のメールアドレスを公開し、メールでも受け付けることで、相談件数が増加しました。 ・近隣施設と連携し、スタンプラリーを実施したり、季節ごとの飾りつけとして当館の竹を近隣施設に提供したり、共催で事業を実施する等、地域の活性化に努めました。	【更なる取組を期待する点】 ・施設の存在をアピールしつつ、地域の方々に継続して興味をもっていただけるような事業の展開ができるることを期待しております。 ・近隣区である、南区、港南区、磯子区に加え、他の地域からも来館してもらえるよう、施設について効果的なアピール方法を検討していただくようお願いします。 ・物品販売等を導入し、指定管理料以外の収入を得たことについては、今後も工夫をし、物販販売等で固定的なファン層を獲得できることを期待しています。
	2	貸館利用率(業務の基準で設定している定量指標②)	能舞台:45% 和室:29% 茶室:9%	能舞台:55.3% 和室:36.5% 茶室:20.2%	徐々に利用が戻り、和室・茶室については撮影利用の増加やリピーターの利用者が増加したことから、例年よりも高い稼働率となった。		
	3	貸館利用の相談・広報支援件数(業務の基準で設定している定量指標③)	8件	81件	メールでの貸館利用相談を受けるようになり、貸館についての相談件数が増加した。		
	4	利用者の状況についての現状把握(提案者が提案する定性指標①)	状況把握に努める	状況把握に努めた	利用者団体にヒアリングを行い、困っている事(メンバーの高齢化等)を伺い、サポートできる部分は積極的にサポートを行った。		
	5	幅広い利用目的でご利用いただけるということをアピールし、多くの市民にご利用いただける環境を提供(指定管理者が提案する指標)	実施	実施	ブログやSNSで撮影利用やウェディング利用を紹介し、多目的に使えることをアピールした。		
使命4 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける	1	地域の施設・団体等と共に連携して実施する事業数(業務の基準で設定している定量指標①)	1件以上	1件	横浜市南公会堂と連携し、「横浜芸者」公演を実施。	【成果】 ・近隣3区からの事業の参加が約5割となっておりますが、アンケート結果を見ると、まだ初めて来館された・初めて施設を知ったという方が多くあります。知名度向上に向けて、施設の情報を引き続き、広く発信してまいります。	・各使命における定性指標には、利用者の状況把握やヒアリングの実施等が挙げられていますが、利用者の声から満足度や事業の課題等を把握し、次年度事業等の改善につなげてください。
	2	事業参加者数に対する磯子区・南区・港南区在住者の参加者数の割合(アンケート集計)(業務の基準で設定している定量指標②)	30%	49.3%	約50%の方が近隣3区から参加された。		
	3	アンケート回収率(業務の基準で設定している定量指標③)	55%	79.5%	公演終了後、アンケートの記入を呼びかけることで回収率は約80%となった。		
	4	地域の施設・団体等との連携状況のレポート(業務の基準で設定している定性指標①)	実施	実施	館長会議や近隣施設との日常的な情報交換を実施。		
	5	連携したことによる地域の声(インタビュー調査)(業務の基準で設定している定性指標②)	ヒアリング実施	ヒアリング実施	普段久良岐能舞台に来館されたことのない方、初めて知ったという声があり、久良岐能舞台の周知につながった。		
	6	地域の様々な団体や施設と連携し、事業の共催や、地域コミュニティの催しに積極的に参加することで、地域の文化芸術振興を推進(指定管理者が提案する指標)	実施	実施	磯子区近隣施設と連携したスタンプラリーに参加したり、横浜市南公会堂での共催公演を実施した。		

令和4年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

使命5 持続可能性を高める施設運営を行う	1 施設の管理瑕疵に起因する事故件数 (業務の基準で設定している定量指標①)	0	0	日常的な点検により、「事故を未然に防ぐ」運営を心がけた。	<p>【成果】 ・職員による日常点検にて不具合を早期に発見し、小破修繕は自ら行うことで、修繕費の削減に大きく貢献しました。 ・指定管理料以外の収入の増加を図り、伝統芸能に関する書籍等の物品販売やコピーサービス、事業の助成金を得ることにより、約250万円の収入を得ることが出来、収支バランスの改善に努めました。</p> <p>【課題】 ・歴史ある施設のため、老朽化が進んでおり、様々な不具合が生じております。日常点検をしっかりと行い、早期に対応することで、施設の長寿命化を図ってまいります。</p>
	2 法定点検等の実施率 (業務の基準で設定している定量指標②)	100%	100%	適切に実施。	
	3 修繕費予算の執行率 (業務の基準で設定している定量指標③)	90%以上	28%	庭園の灯籠劣化による修繕やテープル脚の補強、テーブル金具の修繕等、発見した不具合については職員による小破修繕を実施したため、修繕費は大きく削減された。	
	4 自主的な収入を得るための取組と目標額 (業務の基準で設定している定量指標④)	25万円以上	2,513,607円	物品販売やコピーサービス、助成金等、指定管理料以外の収入の増加を図った。	
	5 能舞台、能装束、庭園等の適切な保存・管理(装束の虫干しを含む) (業務の基準で設定している定性指標①)	実施	実施	適切に実施。	
	6 施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング(アンケートやインタビュー調査) (業務の基準で設定している定性指標②)	実施	実施	年度末に実施。	
	7 管理運営費推移の要因分析(業務の基準で設定している定性指標③)	毎月実施	毎月実施	毎月収支状況を確認。	
	8 事故が起こらないように予防措置を行い、小破修繕は自ら行い、経費削減・施設や設備の長寿命化を図る(指定管理者が提案する指標)	実施	実施	日常的な点検により、不具合の早期発見を図り、小破修繕は自ら行うことで経費削減・長寿命化を図った。	
使命6 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する	1 安全安心な自主事業の実施	徹底した感染防止対策による事業の実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に非接触体温計の設置と消毒液を設置し、定期的な換気、アクリルパネルの設置等、安心して参加 	<p>【成果】 ・消毒液の設置やマスク着用、定期的な換気、アクリルパネルの設置等、様々な感染症対策を行った結果、当館でのクラスターは発生しておりません。</p> <p>【課題】 ・物価高騰や水光熱費の高騰により、支出の増加が見込まれます。これまで以上に消耗品費等の節約や水光熱費の節減が必要となります。運営に支障をきたさない範囲で見直しを行ってまいります。</p>
	2 利用者及び職員の感染症対策	利用者への感染症対策	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・37℃以上の体温の方には来館をご遠慮いただく等 声掛けの実施、来館 	
		職員への感染症対策	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所の定期的な換気、密にならないようなデスクの配置、体調に異変を感じ 	
		館内設備における感染症対策	実施	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒液の設置、非接触体温計の設置、定期的な換気の実施 	
	3 収支見込の考え方	収入見込について	実施	安心してご利用いただけるよう、アクリルパーテーションを準備したり、手摺や机・椅子等の消毒を行った。	
		支出見込について	実施	消耗品や職員による小破修繕、水光熱費の節減等支出を抑える取り組みを行った。	

令和4年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画	実施状況		評価	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 能楽等を知り、親しみ、体験することができる機会の提供	1 幅広い市民が能楽等の伝統芸能を知り、学ぶことができる事業の実施	□日本舞踊早わかり公演	1回	日本舞踊基礎教室の新規受講生獲得のための公演。 フラメンコと日本舞踊のコラボレーション公演を実施。(5月22日)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業については、席の間隔を空け、換気を行う等、新型コロナウイルス感染予防を行なながら、人数を制限した上で実施しました。 ・新しい風を取り入れるため、伝統芸能と別ジャンルのコラボレーション事業をいくつか実施しました。リピーターのお客様を飽きさせず、新規のお客様も取り込めるよう新たな挑戦を行いました。その結果、初めて事業に参加された方は「日本舞踊早わかり公演」では23%、「KURAKIスペシャルコンサート」では45%いらっしゃり、施設の知名度向上に繋がりました。 ・「山伏と能楽師」公演については、自主事業として準備を進めておりましたが、出演者の助成金申請の関係で、後援として事業のサポートを行うことになりました。お客様に久良岐を知っていただく、伝統芸能の魅力を知り、楽しんでいたく事が目的ですので、今後も出演者と連携しながら、柔軟に対応していくと考えております。 ・「能楽体験大会」については、能楽講座受講へ繋げるための公演として実施。講座講師陣によるパフォーマンスの後、各ブース20分ごとに回っていました。実際に謡や仕舞、雛子の演奏を体験してもらった結果、9名から講座受講の申し込みがありました。お客様からの満足度も非常に高く、再度の公演の希望を多数いただきました。お客様が伝統芸能に触れる機会を今後もつくっていきたいと考えております。 ・能楽公演や狂言公演では、公演前に出演者による解説を入れたり、ハンドブックを作成する等、初めて見る方でも楽しめるように工夫しました。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能を取り入れつつ、別ジャンルを取り入れた事業については、常連の方や初めて来館される方を問わず、施設に興味をもってもらうための取組をしたということが確認できます。 ・能楽の新規受講者を獲得するために、講師と協力しながら能楽の魅力を発信しつつ、継続的に伝統芸能に触れるきっかけを作った取組を評価できます。 ・初めて伝統芸能公演を見る方へ向けて、ガイドブックを作成し、久良岐能舞台に継続して興味をもっていただく工夫をしていることが確認できます。 ・施設に興味を持つてもらう事業として、伝統芸能を大切にしつつ、固定化しない事業の展開を実施し、幅広い年齢層の来館を促す工夫をしていることが確認できます。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、施設に興味、関心をもらうため事業の実施や、インターネット、SNSなど様々な手段で広報していただくことを期待します。
		□山伏と能楽師(後援)	1回	山伏と能楽師という新しい組み合わせで日本の伝統を紹介。(5月29日)		
		□能楽入門大会	1回	能楽講座の新規受講生獲得のための公演を実施。(7月3日)		
		□ろうそく能「清経」	1回	年1回の久良岐能舞台ならではのろうそく能を実施。(11月5日)		
		□横浜芸者	1回	横浜市南公会堂との共催公演。横浜芸者の唄や演奏と神楽を組み合わせたコラボレーション公演を実施。(12月10日)		
		□新春竹灯籠まつり	1回	久良岐能舞台の環境を活かした、神楽や獅子舞等のお正月らしい公演を実施。(1月14日)		
		□久良岐狂言会	1回	年1回の狂言公演。人間国宝である野村萬氏をお呼びして公演を実施。(3月11日)		
2 地域の文化施設として市民に親しまれる施設となるため、施設に興味を持ってもらうための事業		□くらきナイト	1回	久良岐能舞台の環境を活かした、地元の方・幅広い年齢層に向け、庭園を使ったお化け屋敷、能舞台での琵琶奏者による講談を実施。(8月6日)	<p>【課題】</p> <p>数年課題となっている講座受講生減少を解決するため、「日本舞踊早わかり公演」や「能楽体験大会」を新規受講生獲得の目的で実施しておりますが、なかなか大きく成果に繋がっておりません。ただ、これらの公演をきっかけに伝統芸能に興味を持つていただいたり、講座の問い合わせをいただく事はあるので、引き続き公演内容を精査しながら実施していきたいと考えております。</p>	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設に興味を持つてもらうための事業としてコンサートや琵琶奏者による講談を行い、10代～70代まで非常に幅広い年齢層のお客様に来館いただきました。今後も能舞台が身近なものとして、地域の方々に親しみを持っていただけるような公演を行ってまいります。
		□KURAKIスペシャルコンサート	1回	久良岐能舞台の囃子(音楽)のルーツからコンサートを実施。三味線奏者の演奏と能楽師による仕舞のコラボレーション公演を実施。(10月23日)		
		□クラシックコンサート	1回	新規顧客獲得のために実施。久良岐の環境を活かし、一流演奏家による本格的なクラシックコンサートを実施。(12月4日)		
3 市民の能楽等への関心や理解を深める機会として、久良岐能舞台所蔵の能装束等の展示・公開の実施		□能装束展	1回	所蔵能装束の虫干しを兼ね、所蔵能装束と、久良岐能舞台独自に作成した簡易装束、能面の展示を実施。舞台では地元の面打師、岩崎師によるワークショップを実施。(9月4日)		

令和4年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

2 能楽等に携わる人材を育み、市民の活動を支援することで、近隣住民を中心とした市民の文化芸術活動の可能性を広げる	1 能楽等の伝統芸能のすそ野を広げる様々な市民向けの謡曲・仕舞・囃子講座等の実施	口「久良岐能楽講座 謡・仕舞」受講者数	●喜多流 初級 1名 中級 4名 ●宝生流 中級 10名 ●金春流 初級 3名 中級 8名	伝統芸能愛好者の育成を目的とし、久良岐能舞台での能楽講座を実施。3流派での謡講座、仕舞講座を用意。(各流月2~3回実施)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当施設で行っている講座については、各専門家を講師とし、お稽古・発表会にて適切に助言・指導を実施しました。 利用者情報、活動継続に向けた情報の提供や支援として、HPに情報を掲載したり、興味を持たれてる方へ活動団体の紹介を行ったりしたことで、約5名の方を各団体へ御紹介することができました。 近隣区(磯子区・南区・港南区)の小学校を対象に、狂言鑑賞教室を弊社の教育支援事業として実施しました。狂言の鑑賞・体験を行い、実際に能舞台に足を運んでもらうことで、日本の伝統文化を学んでもらい、次世代育成に努めました。 横浜市芸術文化教育プラットフォームのアウトリーチ事業に伝統芸能コーディネーターとして参加し、次世代育成に努めました。伝統芸能のなかでも狂言鑑賞を希望する学校が多いため、久良岐能舞台で5校の学校を受け持ち、狂言の普及に努めました。 各講座の1年間の集大成として、講座毎に研鑽会を実施しました。発表の場を設けることでモチベーションに繋げ、受講する仲間たちとの交流の場にもなればと思い、開催しております。研鑽会には受講生の関係者や散歩で立ち寄られた方等、多くの方が来場されました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本舞踊、能楽講座においては、受講者数が目標に届いていないものもあります。より幅広く周知するためにも、チラシのみならず、インターネット広告やタウン誌、DM、SNS等も活用し、広報に力を入れていく必要があると考えております。 	
		口「久良岐能楽講座 囃子」受講者数	17名	伝統芸能愛好者の育成を目的とし、久良岐能舞台での囃子講座を実施。大鼓・小鼓・太鼓・笛の4種の楽器の講座を用意。(各楽器 月1~2回実施)		
		口「日本舞踊基礎教室」受講者数	5名	伝統芸能愛好者の育成を目的とし、久良岐能舞台での日本舞踊の教室を開催。(月4~5回実施)		
	2 利用者情報、活動継続に向けた情報の提供等による活動支援	■利用者情報の提供	実施	施設HPに利用者情報を提供し、活動継続に向けての支援を適切に実施。		
	3 利用者団体の会員募集支援など新たな愛好者の発掘等による利用者団体の活性化	■利用者団体の会員募集支援	実施	施設HPに施設を定期的に利用する団体の会員募集の情報を掲載。		
	4 地域コミュニティを巻き込んだ、インリーチ事業等による、能楽等の伝統芸能の体験講座の実施	口近隣小学校を招待しての事業の実施	11月2日、11月4日、12月12日	磯子区・南区・港南区の小学校(9校735名)を招待し、狂言教室を実施。		
	5 横浜市芸術文化教育プラットフォーム等のアウトリーチ事業により、幅広い子どもたちへの能楽等体験事業の実施	口受託校数	5校(550名)	狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催。久良岐能舞台のコーディネーター担当は11度目。		
	6 次世代に伝統芸能を継承するために、能楽を身近に感じられるような講座を実施	口「4歳からの能楽」受講生数	9名	次世代に伝統芸能を継承するための取り組みとして、子供向けの能楽講座を実施。		
評価項目		令和4年度計画	実施状況		評価	
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 能楽等をはじめとした文化芸術の活動の場を市民に提供し、市民自らの活動を支援	1 能楽等の伝統芸能に関する利用のみならず、その他の目的での利用についても貸館を実施	■幅広い市民に文化芸術活動の場を提供	実施	空いている区分については、婚礼前撮りやMV撮影、演劇等、幅広く市民の方々に施設を貸し出した。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統芸能に関する利用のみならず、施設が空いていれば、それ以外の用途の利用も施設を貸し出し、より多くの市民に利用していただけるよう努めました。近年では、ロコモの影響で撮影利用が増加しており、利用料金収入の3割を占めております。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣施設との連携の取組により、多くの方々に施設の存在アピールをすることができたことを評価します。今後も、インリーチ事業を大切にしつつ、アウトリーチ事業にも工夫した取組ができる期待します。
	2 お客様同士の騒音トラブルを防ぐため、調整を行う	■貸館利用者の施設利用を調整	実施	防音の施設ではないため、楽器の演奏等、音の出る利用が入っている際には、後から他の諸室を利用されるお客様には必ず案内を行い、トラブルが起きないよう調整をした。	<ul style="list-style-type: none"> 舞台で公演を行う際には必ず全館借りていただいたり、音の出る利用がある際には、他の部屋を借りる方に事前に案内をする等、トラブルが起きないよう配慮いたしました。その結果、お客様同士のトラブルや、クレーム等はありませんでした。 茶室を利用する団体に当施設での自主事業「のだて」にご協力いただいたり、発表の場を探している横浜芸者に事業に出演いただく等、横浜市内・当施設で活動する団体に活動の場を提供しました。 	<p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の空き状況を把握し、伝統芸能以外の用途についても貸し出し、幅広い用途に対応していることが確認できます。様々な撮影利用が増加しているので、今後も撮影スポットとして利用されることを期待しております。
	3 市民に発表・活動の場を提供	■久良岐能舞台で活動する団体に発表・活動の場を提供	実施	久良岐能舞台での能楽講座、囃子講座の受講生の研鑽会を実施。また、自主事業の「のだて」では、茶室を利用している団体に協力をしてもらいました。	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 久良岐能舞台の各部屋は鍵等はついておらず、防音設備もないため、お客様同士、互いに気遣いながら利用していく必要があります。新規に利用されるお客様には利用方法や注意事項を丁寧に説明し、市民の皆様が気持ちよくご利用いただけるよう努めてまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> 能舞台であり、様々なハード面で対応が難しいこともあります。特に施設を初めて利用される方については、継続して丁寧な説明や注意事項を行うようにしてください。

令和4年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

2 地域の様々な施設・団体・資源を有機的に結びつけ、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成に寄与	1 施設と地域の相乗効果を発揮し、能楽施設に親しみ、伝統芸能の楽しさを味わうための事業の実施	□「久良岐まつり」参加者数	中止	磯子区岡村の連合町内会との調整の結果、新型コロナウイルスの影響を考慮し、今年度も中止となった。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭園の清掃や自主事業について等、サポートスタッフには久良岐能舞台の運営をサポートしていただき、市民協働の運営を推進しました。 ・近隣施設との連携として、南公会堂での共催公演を実施しました。久良岐能舞台は来場できる人数も限られてしまい、より多くのお客様にご来館いただく事ができました。303名の参加があり、そのうち、久良岐能舞台の事業に初めて参加された方は約8割となり、多くの方に久良岐能舞台を知つていただきました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣施設や地元企業との繋がりが構築できてきており、今後もこの繋がりを活かして事業連携等を進めてまいります。
	2 市民協働の視点による企画、運営、清掃等のサポートスタッフの活用	■市民協働の運営	実施	サポートスタッフによる運営への協働実施 事業運営: 自主事業実施時12回、庭園清掃: 13回	
	3 近隣施設等と連携しながら、公共施設として地域活性化のための活動を推進	■近隣施設との事業等の連携の実施	実施	横浜市の地域活性化支援事業の助成を受け、横浜市南公会堂との共催で横浜文化である横浜芸者・神楽のコラボレーション公演を実施。	
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用	1 施設環境を活かした居心地の良い空間の整備	■庭園スピーカーの活用、ベンチの設置等、市民の「憩いの場」となる取組を実施	実施	タイミングを見ながら、庭園スピーカーで囃子の音を流したり、お散歩の際に休憩できるようベンチを設置。ベンチは老朽化してきたものは新しく作り直し、リニューアルした。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩で訪れた方や開演時間までの休憩として、ベンチを利用される方が多くいらっしゃいました。庭園のスピーカーは、自然の音を聞きたいというお声もあつたため、「久良岐ナイト」でお経を流したり、能楽公演の開演前に囃子を流したりと事業と連携して活用することで、事業の満足度向上に繋がりました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭園が整備され、芝生が一面に広がり、さらに魅力ある庭園となつたため、環境を活かして「のぞき」を実施。普段あまり能舞台に訪れる機会のなかつ幅広い年齢のお客さまが来館され、久良岐能舞台の知名度向上に繋がりました。 ・お客様から頂いたご意見については、職員で共有し、改善できるものは直ちに改善し、お客様の満足度向上に繋がりました。
	2 散策の市民を施設に誘導するための取組	■保健所や貴市と相談の上、抹茶やお茶菓子の提供を検討	実施	恒常的に提供することは難しいが、自主事業として、庭園を活かして野点を実施。	
	3 古典芸能や施設に興味を持つもらうための取組	■古典芸能に関する動画の配信	実施	久良岐能舞台YouTubeチャンネルにて動画を配信。	
	4 より多くのお客様に催事を楽しんでいただくための取組	■お客様用に用意した装束の着付け体験を実施	中止	新型コロナウイルスの影響もあり、不特定多数の方が袖を通して体験するのは好ましくないと考え、中止とした。	
	5 運営会議等によるPDCAサイクルの確立	■毎月の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施	実施	自主事業での受付フローについて、早めに来館されるお客様の対応として、開場時間の30分前から受付は行い、整理券を配布。開場時間になるまでは庭園散策してもらう等、受付のフローを見直し、お客様への案内を徹底した。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客に向けた事業として、「簡易装束」を作製しておりましたが、新型コロナウイルスの影響で未だ活用できておりません。だんだん観光客も戻ってきておりますので、"日本の伝統的な施設"というだけでなく、"体験"の要素も加え、観光客を呼び込む施策を検討してまいります。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客に向けた事業として、「簡易装束」を作製しておりましたが、新型コロナウイルスの影響で未だ活用できておりません。だんだん観光客も戻ってきておりますので、"日本の伝統的な施設"というだけでなく、"体験"の要素も加え、観光客を呼び込む施策を検討してまいります。
	6 利用者アンケート、利用者との会議等による利用者ニーズの適切な把握、PDCAサイクルの実施	■アンケート集計後、職員等の関係者への回覧を行い、直ちに改善できる点はすぐに改善を行う	実施	自主事業参加者を対象としたアンケートを実施。 <改善の具体例>公演中、写真撮影したいという希望があった場合は、出演者に許可を得たうえで、音が大きいタイミングで他のお客様に迷惑をかけずに撮影するのであれば撮影可能とした。	
4 組織的な施設運営	1 現場運営に最適な現場管理の実施	■能楽等の専門知識として必要な知識と実行のみならず、庭園に関する知識を持った注意深く監視	実施	日頃より、職員は能楽に関する知識を身につけるよう情報収集を行い、庭園の維持管理についても南部公園緑地事務所と連携しながら適切に実施。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能楽等の伝統芸能の専門施設として相応しい職員育成のため、能楽公演を鑑賞する等、能楽に関する知識や意識の向上を図りました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と共に久良岐能舞台を運営するという視点から、自主事業運営、庭園清掃の2分野に分けてボランティアスタッフとの協働運営を推進しました。
	2 必要人材の配置と職能	■大規模な事業や特別な支援が必要な場合は本社各部門から支援を行う ■天井が高いところを取らないければならない職員がいる場合も、基本的にはシフトで調整し、運営に支障をきたさないよう、シフトを調整して対応した。	実施	演出を伴う公演については、本社の舞台技術スタッフが入り、照明等の演出を行った。	
	3 主要人材の能力担保	■本社就業者(業務担当): 1名 ■館長(現場管理責任者、事業企画): 1名 ■職員・主任(運営業務責任者): 1名	配置	適切な人員配置で運営。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭園に咲く花や苔等についてもご案内ができるよう、庭園にある植物を把握し、知識の向上に努めました。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蠟燭能公演では、照明スタッフによる演出を効果的に加えることで、より幻想的な世界を創り出しました。これによりお客様の満足度向上に繋がりました。
	4 各専門家によるアドバイス	■施設運営に関する研修や運営会議等を通じた能楽等の専門施設に相応しい認証の実習の準備や、能楽、古典芸能全般それぞれの分野について、事業企画実施に際して専門知識を有する専門家によるアドバイス	実施	各自情報収集を行うほか、伝統芸能に関する公演に参加し、見聞を深めた。	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員は能楽の専門家ではないため、今後も自主事業講座の講師にアドバイスを求めたり、能楽等に関する研修を重ねることで、伝統芸能に対する知識をよりいっそう深めてまいります。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の突発的な休みやトラブルがあった際にも対応できるよう、今後もバックアップ体制を構築してまいります。
	5 市民ボランティアの配置・活用	■市民ボランティアスタッフ(サポートスタッフ)の事業補助、庭園清掃等の各委嘱に応じて専門知識を有する専門家によるアドバイス	実施	令和4年3月末現在のボランティアスタッフ登録: 11名	
		■市民ボランティア保険をボランティアスタッフ全員に付保。	実施	ボランティア保険をボランティアスタッフ全員に付保。	

令和4年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

5 その他施設運営に関する事項	1 休館日の届け出		実施	適切に実施。	
	2 許認可及び届け出		実施	適切に実施。	
	3 目的外使用料の申請		実施	適切に実施。	
	4 財務状況の確認		実施	毎月確認。	
評価項目		令和4年度計画	実施状況		評価
II 施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	年間実績	説明	自己評価
1 保守管理業務	1 日常点検等による、きめ細やかな施設管理に基づく予防保全の実施	■毎日の清掃時に各部分の目視による点検を行い、変化が見られる場合はより詳しく点検を行い、	実施	日常点検に基づく予防保全を適切に実施。	<p>【成果】 ・職員による日常清掃で施設の美観を維持するとともに、清掃時には施設や備品についても確認し、不具合がないか点検を行うことで、早期発見に繋がりました。発見した不具合は、なるべく職員で修理し、難しいものについては専門業者へ依頼し、迅速に対応いたしました。</p> <p>【評価できる点】 ・施設の不具合がないかを確認し、対応可能な不具合については、早期対応や専門業者へ対応依頼し、安全な施設環境を維持している姿勢であることが評価できます。</p> <p>・消防署等に協力いただき防災訓練の実施や、自然災害等に備えた訓練を行い、緊急時に備えた対応をしていることが確認できます。</p>
	2 定期点検による施設の維持管理	□専門業者による空調・設備等の定期点検の実施	年5回	4月18日、7月25日、10月17日、1月16日、2月20日 実施。	
	3 施設・設備・備品等の維持管理・保全業務の実施	■業務の基準に従い、適切かつ確実に業務を実施	実施	竹灯籠の竹が腐食したため新しい形の灯籠を作成。暗くなつても掲示板が見えるように電気を設置する等、施設の維持管理を適切に実施。	
		□年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告	実施	適切に実施。	
		■庭園内門扉の適切な管理	実施	9時に開錠し、16時30分に施錠。雨の日は階段が滑って危険なため門の開錠は行わないようにした。	
2 環境維持管理業務	4 能舞台、能装束等所蔵品の管理実施	■能舞台の日常点検の実施、能装束の虫干し実施と定期的な防虫剤交換	実施	能装束を保管している鏡の間に除湿機を常時稼動。和箪笥内の水取り剤、防虫剤を適宜交換。年に1回能装束の虫干しを実施。	<p>【更なる取組を期待する点】 ・スズメバチの巣や倒木で危険な状況になったときは、近づかないよう簡易な囲いの設置や周辺への周知とともに、南部公園緑地事務所とも連携しながら対応いただくようお願いいたします。</p>
	5 迅速かつ臨機応変な施設管理・修繕対応の実施	■不真面目や破損等が発見された場合、小破修繕であれば職員自ら修繕	実施	清掃時や巡回時に建物・備品についてチェックを行い、軽微な不具合であれば自分たちで速やかに修繕を実施。	
		■現に設置されている設備の場合は同一製造者の市内代理店等を基本とし、その他のものは構造	実施	市内の業者から見積を徴収し、最低価格の業者に委託。	
		■安全で安心を利用できる久良岐能舞台の庭園環境を実現するため、所管の南部公園緑地事務所と連携して	実施	事故発生を未然に防止するため、定期的な巡回や清掃時に危機発生の可能性を日常的に点検し、危険箇所があれば直ちに南部公園緑地事務所へ連絡。	
		■見回りの実施等、敷地全体の犯罪や火災等への警戒と事故等の未然防	実施	見回り:日中 適宜実施、夜間 1時間毎実施。	
3 保安警備業務	1 警備・安全管理業務の実施	■大木が多くて樹木が多い庭園を持ち、純木造の建物の施設であるため、安全管理や火災予防など、全体的な観点から	実施	・庭園内にある老化した樹木や警戒を要する枝、降雨時の滑りやすい階段や斜面で事故が発生しないよう、予防措置を実施。 ・災害の予測に基づく対応・対策・訓練を実施。	<p>【課題】 ・近年、スズメバチの巣の被害が増加しております。ハチの巣については見つけ次第、南部公園緑地事務所へ連絡し、早急に除去作業を行っていただくことが重要です。散策でいらっしゃるお客さまが安心できるよう、注意して巡回してまいります。</p>
	4 防火・防災等	1 庭園内の安全管理、火災予防の実施、危機管理対策	年2回	7月11日、9月1日実施。	
		■久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に提出するとともに、全職員に周知。	実施	久良岐能舞台緊急連絡網を作成し、文化振興課に報告すると共に、全職員に周知。	
5 緊急時の対応	1 緊急時の対応	■緊急事態が発生した場合は、直ちに必要な措置を講じるとともに、文化振興課を含む関係者に対し、	実施	防災訓練において対応措置の実施訓練を行った。	<p>・職員はマスク、手洗い・消毒等、感染症対策を徹底し、お客さまにもマスクの着用や消毒をお願いする等、感染症の予防に努めました。</p>
	6 その他施設運営に関する事項	1 新型コロナウイルスと共生する運営体制	実施	全職員が手洗い・消毒等の感染予防を行った。	
		■全職員の手洗いや除菌等の感染予防措置	実施	濃厚接触者の疑いのある職員は自宅待機とし、PCR検査の結果と医師の指示を仰いだうえで職場に出勤。	<p>・職員に感染の疑いがあった場合には、出勤はさせずにPCR検査の結果が出るまでは自宅待機とし、PCR検査の結果と医師の指示を仰いだうえで職場に出勤。</p>
		■感染症対策のための備品の設置	実施	消毒・非接触検温計をロビーに設置。	
	2 施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	□甲種防火管理者	配置	甲種防火管理者を選任し、磯子消防署に防災計画を提出。	

令和4年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和4年度計画	実施状況		評価	
Ⅲ収支	指定管理者提案(要旨)	取組内容	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の考え方	1 利用料金・割引料金の適切な設定	■利用料金を適切に設定 ■利用1ヶ月前を切った諸室の空きコマについて、「直前割引」の実施を検討	実施 検討	横浜市能楽堂条例のとおり実施。 1ヶ月前のタイミングだとすでにご利用いただいているお客様もこのタイミングで予約される可能性がある。新規顧客獲得のための対応のため、3日前や1週間前の直前割引にすることを検討している。	【成果】 ・郵送による利用申請及び利用料金の現金書留・振込による支払を可能にしました。遠方の方でも申請しやすいようにサービスの向上に努めました。 【課題】 直前割引の内容について、内部で検討が続いております。早すぎるタイミングで割引制度を作ってしまうと、本来ターゲットとしている新規利用客の獲得に繋がらないのではないかという意見もあり、他施設の情報も集めながら調整を行っております。	【評価できる点】 ・利用者が申請及び利用料金が対応しやすい、対応方法を導入したことについては、様々な利用者へ寄り添った対応であると評価できます。 ・インターネット環境を整備し、ライブ配信での公演を発信したことは、施設へ直接公演を見ることができない方へ配慮した対応であると確認できます。 ・公演情報や受講生募集のチラシを様々な方面へ積極的に呼びかけており、継続して事業を参加してもらうための工夫をしていることが確認できます。
	2 多様な支払方法によるサービス向上	■窓口現金払い、現金書留・振込等、複数の支払い方法の運用	実施	郵送による利用申請及び利用料金の現金書留による支払を可能にした。振込による支払いも可能にし、申請しやすいうようにサービスの向上に努めた。		
2 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力	1 自主事業で実施している講座の受講生増加を図る	■受講生の募集を早い時期に行い、チラシの配架やSNS・HPで呼びかけを行い、広く周知する ■受講生に継続して事業に参加してもらうために、感染症対策の徹底、ポイント制度の運用を行う	実施 実施	例年、7月の能楽門入公演にて募集を開始するが、それ以前からチラシを作成し、横浜能楽堂のDMに入れていたり、各施設ラック等に置かせてもらいました。 消毒液の設置、飛沫防止アクリルパネルの用意をした。ポイント制度については出席率向上のために導入しているが、あまり効果が見られない。	【成果】 ・公演やチラシ、HP等で受講生募集を呼びかけた結果、12名の新規受講生を獲得しました。 ・ネット環境を整備していたため、ライブ配信での公演希望のお客さまにも対応することができました。今後も様々なご利用に対応できるよう、設備やサービスの見直しを行ってまいります。 ・ブログやSNS等で施設や庭園の写真を発信することで、撮影利用の促進に努めました。その結果、新規の撮影利用者が12件増加しました。	【更なる取組を期待する点】 ・施設ホームページのブログやSNSの発信により、施設内の四季の様子や実施した事業の様子を確認することができます。港のイメージがある横浜市内で自然豊かな撮影スポットであることをアピールしていただき、施設の撮影利用者が今後も増加することを期待しております。
	2 貸館の利用促進を図る	■撮影利用での利用も促進 ■地域住民に向けてリモートワークでの利用も促進 ■利用の少ない時間帯の割引制度導入を検討	実施 実施 検討	婚礼の前撮りやコスプレ撮影等の利用も貸し出した。口コミで広げていただき、利用が増加している。 リモートワークでの利用はなかったが、ネット環境が整っているため、ライブ配信等でもご利用をいただいた。また、問い合わせがあった際には会議利用等でも利用いただけることをご案内した。	【成果】 ・横浜市地域の文化芸術活性化事業において、200万円の助成金を獲得しました。この助成金で久良岐能舞台、南公会堂で横浜芸者による公演を実施し、幅広い地域・年齢層のお客さまに横浜文化を普及しました。 ・日常的な節電に加え、大幅な電気料金値上げに対応するため、新電力へ切り替えることで、水光熱費の削減に努めましたが、前年度より水光熱費は増加しました。 前年比:114.1%	
	3 物品販売の実施	■利用者に向けて書籍や足袋等の物品販売を実施	実施	伝統芸能に関する書籍やDVD、白足袋を販売。	【課題】 ・先述しましたが、講座の受講生の新規獲得が難しく、なかなか目標人数には届いておりません。引き続き、広報活動に努め、広く周知してまいります。	
	4 助成金の獲得を図る	■支出の多い事業については、事業参加者増加を図るとともに、助成金も獲得	実施	横浜市地域の文化芸術活性化支援事業の助成金200万円を獲得。		
	5 「無駄を省くが無理をしない」という考え方のもと、余分なコストの削減に努める	■施設や設備の小破修繕を自ら対応、備品も自分たちで製作できるもの ■内部資料は裏紙を使用し、資源を再利用する ■水光熱費削減に努め、新電力への切り替えやプランの変更を検討	実施 実施 実施	小破修繕は職員で対応し、備品についても材料のみ購入し、自分たちで製作し、費用削減に努めた。 資源の再利用を心がけた。 施設の利用がない時は消灯するなど、適切な管理を行い経費削減に尽力した。電力の大幅な値上げが告知されたため、新電力へ切り替えた。	【課題】 ・LED化により、電気料金が下がることが予想されましたが、近年の電気料金の値上げも踏まえ、引き続き節電に努めてまいります。	
	6 自己点検・評価による効率的運営の実施	■利用者アンケート、事業参加者アンケート、事業ごとの事業実施報告書等による自己評価と点検により改善点を抽出し、改善を推進 ■日常的施設運営においては、各種業務記録、日報などを基に定期的なミーティング等を通じて検討し、直ちに改善を実行	実施 実施	照明・空調については事務所で操作する必要があるため、事業実施の際は照明のタイミングや空調操作について、見所から事務所への伝達をランサーバーや電話の活用、ライトの点滅で伝える等、改善を重ねている。 適切に実施。 事業に早めに来館された方には整理券を配布する、受付の開始時間の案内を統一し、事業参加者の混乱を避ける等、改善を重ねている。		
IV 各種計画書・報告書の作成及び業務評価	業務の基準	取組内容	年間実績	説明	自己評価	行政評価
	1 日報、月報の作成・管理	□業務日報の作成 □管理運営月報をモニタリング	実施 実施	適切に実施。 適切に実施。	【成果】 ・日報により職員同士、本社との情報共有を行いました。 ・月報を毎月のモニタリングにて市に共有し、成果や課題を報告いたしました。	
	2 事業計画書・事業報告書の作成・管理	□事業計画書・報告書の作成	実施	適切に実施。		
	3 業務評価の実施	□自己評価	実施	適切に実施。		

令和4年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

V その他	選定要項	取組内容	年間実績	説明	自己評価	行政評価	
1 市の重要政策課題への対応	1 個人情報保護についての取組	■プライバシーマークの基準に則り、個人情報保護の徹底	実施	・個人情報を含んだファイルを送付する際は、必ずパスワード付きで送信。 ・第三者の連絡先を教えてほしいという要望があった際には連絡先を教えて後に、要望された方の連絡先を同じ、第三者から折り返しご連絡していただくように対応。	【成果】 ・コンプライアンスの遵守、個人情報保護等に関する社内研修を行い、公共施設として適切な運営を行いました。 ・自然豊かな環境を維持するため、毎日の清掃に加え、所管の南部公園緑地事務所と連携し、都度問題に対応しました。	【評価できる点】 ・日頃から南部公園緑地事務所と連携し、管轄区域内を細やかに確認し、管理していることが確認できます。 ・バリアフリーが対応していない施設であるところ、様々な方へ伝統芸能を経験できる機会を楽しめるよう、配慮しながら対応していることが確認できます。 【更なる取組を期待する点】 ・個人情報の取扱いについては、他施設で小さなきっかけが原因で流出する事案が出ています。日頃から、必ず2名以上で対応し、疑問点があれば、すぐには対応せず、複数人で確認しながら対応するようお願いいたします。	
		□全職員に向けて個人情報保護研修を実施	2回実施	4月1日、8月10日:テキストにて研修を実施。			
	2 情報公開についての取組	■「各年度の業務報告書」「各年度の休館日一覧表」のホームページで ①施設の利用状況等、施設の貸出に関する情報は原則としてホームページで ■当該品の開示請求については、事務所窓口で対応し、必要に応じて文化振興課と協議の上で対応。	公開請求無し	各情報をホームページに掲載。公開請求は特にない。	・人権研修を行い、人権尊重の考え方を改めて見直すほか、車いす等の身体的ハンディキャップがある方には車で施設入口までお越しいただける旨の案内をしたり、足の悪い方に向けてイスを高くしたりする等、すべてのお客様が平等にお楽しみいただけるよう対応しました。 ・施設の維持に関わる委託や管理に関わる物品の購入等は横浜市内の中小企業に優先発注するようにしました。		
		■人権尊重の考え方を施設内で共有する人権研修の実施	実施	施設の利用状況は6か月先まで公開。			
	3 人権尊重についての取組	■公正、公平な管理	開示請求なし	開示請求なし。	【課題】 ・近年ではあらゆる人権についての問題提起がなされており、公共施設を運営するにあたり、職員も考え方や対応を考えいかなければなりません。施設に来館されるあらゆる方が平等に気持ちよくご利用いただけるよう、職員の研修を積み重ねてまいります。		
		■当施設はバリアフリーではないが、障害を持つ方も平等に楽しんでいた	実施	適切に実施。			
	4 障害者差別解消	■職員は男女問わず雇用し、性別による待遇差はない	実施	足の不自由な方が来館された際には、車の駐車スペースを確保する等、配慮した。			
	5 男女共同参画	■ごみゼロルートへの参加、ごみの分別の徹底、クリーンエネルギーへの	実施	適切に実施。			
	6 環境への配慮	■委託、購入、どちらの場合も横浜市内の中小企業に優先的に発注	実施	適切に実施。			
	7 市内中小企業優先発注についての取組						

令和4年度 久良岐能舞台 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

1

評価	
自己評価	行政評価
<p>●文化事業の総括 幅広い事業を展開することで、様々な地域・年齢層の方に参加いただき、初めて来館されるお客様も増加しました。アンケート結果を見ますと、事業参加のきっかけがSNSで知ったという方が増えており、今後も情報発信に力を入れて取り組んでまいります。 能楽愛好者の育成を図るため、能楽をはじめ、日本舞踊、囃子の講座を実施し、伝統芸能愛好者の育成に努めました。新規受講生の獲得や受講生の出席率についてはまだ課題が残るため、新規受講生獲得・受講生の出席率向上のための取り組みを検討してまいります。 近隣小学校を誘致して実施する教育普及事業「小学校向け狂言鑑賞教室」や横浜市芸術文化教育プラットフォームによるアウトリーチ事業「アーティストが学校へ。」を通して、次世代への伝統芸能の普及を推進しました。</p> <p>●施設運営の総括 メンバーが減少し、困っている利用団体が引き続き活動できるよう、団体のメンバー募集についても協力するなど様々な機会を利用して施設の周知に努め、利用率の向上を図りました。 公共施設の職員として相応しい職員育成のため、個人情報や人権に関する研修を行い、非常時にも迅速に対応できるよう、防災訓練の実施や危機管理対応マニュアルの見直し等も行いました。 久良岐能舞台のボランティアスタッフ及び囃子区土木事務所所管のグリーンサポーターを受け入れ、市民協働の運営を推進しました。</p> <p>●施設管理の総括 定期的に庭園を巡回し、危険箇所があった場合は南部公園緑地事務所と連携して伐採等の対応を行い、適切な環境を維持することに努めました。 日常点検を行うことで、施設や設備の不具合の早期発見を図り、職員自ら行えるものは自らの手で修繕し、それ以外のものについては専門業者を手配することで素早く対応しました。 囃子消防署・設備点検を委託している会社指導による防災訓練を定期的に実施し、それに加え本社主導の電源周りチェックを毎月行うこと、防災意識を高めました。今後も安全にご利用いただける環境づくりに努めてまいります。</p> <p>●収支の総括 小破修繕は職員自らの手で行い、なるべく支出を抑えるよう取り組みました。 事業については、客席数が少なく、さらに新型コロナウイルスの影響で人数制限を設けているため、収支バランスが非常に厳しくなっています。そのため、助成金を獲得し、なるべく収支バランスを近づけるよう努めました。 自主事業の講座については、欠席者が多く、収入に結びつけることができないことが課題となっています。感染症対策の徹底、講師とマンツーマンでのお稽古、スタンプ制度の導入等の取組を行いましたが、あまり効果は得られませんでした。引き続き対策を検討してまいります。</p>	<p>【評価できる点】 幅広い市民の方々へ伝統芸能及び施設の存在感を広める事業を実施しており、特に世代を問わない取組に力を入れていることが確認できます。 特に、施設への認知を高めるために、創意工夫しながら事業を行うことで、様々な地域にお住まいの方や幅広い年齢層の方々が来館されたことが評価できます。 普段から来館される方も施設を初めて来館される方も楽しめるために伝統芸能を身近に体験できる事業や他ジャンルとのコラボ公演を実施し、飽きさせない取組をしていることが評価できます。</p> <p>次世代への伝統芸能文化を繋げるために、近隣小学校を誘致した「小学校向け狂言鑑賞教室」の実施や横浜市芸術教育プラットフォーム事業を実施したこと、子どもたちが伝統芸能に興味・関心を得る取組を評価できます。</p> <p>施設の運営について、利用方法や職員個々での対応方法について、研修やマニュアルの見直し等も実施し、施設管理についても、来館者の安全のために日常点検していることが確認できます。 また、施設単体のみならず、公園を管轄する南部公園緑地事務所とも連携して、施設の利用環境を適切に維持していることも確認できます。</p> <p>【更なる取組を期待する点】 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症ガイドラインが廃止され、少数で実施していた事業が今後は多数で実施できるようになります。地域密着型の施設でありつつ、今後ますます認知されるよう、ホームページの工夫や他のSNSの導入等のご検討をお願いします。日常から丁寧に庭園管理している状況を発信することで横浜市内で自然豊かな環境があることが認知され、撮影スポットとしての利用者がさらに増えることを期待しております。</p> <p>アンケートやヒアリングで得た利用者の声を、各取組の改善に生かし、使命達成につなげようお願いします。</p>